

カバノー：2人目の告発者いわく——彼は女性の集団レイプを「狙っていた」

この弁護士は、証拠だと主張するものの出所を言わなかった

【訳者注】この事件は現在も進行中である。要するところ、カバノーを陥れるこの計略は、彼の高校時代と大学時代に、同じような学生の乱痴気騒ぎを見つけ出し、そこにカバノーがいたことにして、性的乱暴を働いたことにしたいようである。この2つの事件のパターンが同じであれば、それは互いに他の傍証になることを狙ったのだろう。2人の“被害者”女性の、酒乱や不品行という性格までよく似ている。

問題はその報道で、さすがに NY タイムズも、これは支持しないとやっているようであり、ワシントン・タイムズなどは否定的に報道しているが、NHK などのようにこれを表面だけ報道すれば、視聴者は「2度もやるとは何という破廉恥な男だ」としか考えず、彼らの計略は、少なくともそこまでは成功したと言える。カバノーの娘たちもいじめを受けていると言われ、彼らの巧みな人格暗殺は、一度受けたらたら、なかなか立ち直れないのではなかろうか？

Paul Whitehead, www.neonnettle.com

September 24, 2018



弁護士は「証拠」だと言っているものの出所を言わなかった

性的不当行為とされるものを主張する新しい嵐が、最高裁判事にノミネートされた Brett Kavanaugh に対して、再び吹き荒れている。これは、弁護士 Michael Avenatti が、彼は高校の友達とともに「集団強姦」を狙っていたという（傍証としての）「知識」をもっていると言ったからである。

他の目撃者と言われる人たちが、カバノーに対する非難を否定していることから、深層国家も、急速に選択肢がなくなりつつあるのであろう。<https://neonnettle.com/news/5142-4th-alleged-witness-and-friend-of-ford-deny-kavanaugh-assault-allegations>

アベナッティは、偶然にも、ポルノ女優ストミー・ダニエルズの弁護士であり、大統領選挙に出る可能性を示唆している人物だが、彼は、マイク・デイヴィス（上院司法委員会のノミネーション顧問）に、この主張を E メールで伝えた。

彼は、彼が「証拠」だと言っているものが何であるかを言わず、被害者だと言われる人物の名前も言わなかった。

この E メールで、アベナッティはデイヴィスに、自分は「1980 年代初期のワシントン DC あたりの、多くの家庭パーティに関して、重要な証拠」をもっており、ここでは、カバノー、ジャッジ（人名）、その他が、アルコール/ドラッグで、女性を狙う企みに参加したと思われる」と示唆した。

FoxNews によれば、彼はこう言った：——「私がほんの少し前に、マイク・デイヴィスと交わした E メールがある。我々はこの（承認の）過程が、よく調べ、開かれた公平なもので、アメリカの民衆に責任をもつものであることを要求する。それは急ぐべきではなく、証拠/証言は隠してはならない。」<http://www.foxnews.com/politics/2018/09/23/college-classmate-says-kavanaugh-exposed-himself-to-her-at-yale-party.html>

アベナッティは、上院調査委員会がカバノーに訊ねるべき質問のリストを加えた：——

「あなた方は、一人の女性が複数の男性によって、集団暴行されたか、またはセックスに利用されたような、ハウス・パーティに出席したことがありますか？」

カバノーもジャッジも、アベナッティの追及に直ちには答えなかった。

そのうちに、雑誌ニューヨーカーが、先週日曜日、カバノーのエール大学のクラスメートが、大学のパーティで、彼女に自分を露出したことがあると認めた、と報じた。

カバノーは、その主張は「中傷」 smear だと強く否定した。

この女性デボラ・ラミレス Deborah Ramirez は、この事件といわれるものを調査するように、FBI に要求している。

この雑誌の報告は、ピューリッツァ受賞者の Ronan Farrow の書いたもので、4人の民主党上院議員がラミレスの申し立ての情報を受けており、少なくとも2人が調査を始めたと述べている。

カバノーのエール大学の級友の一人は、彼女が FBI に調査してほしいと言っている、寄宿舎の狂って酔っぱらった、ある事件のことを説明している。

この報告が公表されたのは、カバノーが上院司法委員会に対して、1980年代初め、彼が高校生だった時代に遡る、彼の性的暴行と言われるものについて、証言することになっていた日の数日前のことだった。

我々に直接つなぐことによってインターネット検閲を避けてください。

この（高校の）場合の告発者クリスティーン・ブレイジー・フォードは、自分の供述をするために、委員会に出ることを合意している。

「35年前のものと言われるそんな事件は、起こっていません。その頃の私を知っている人々は、そんなことが起こらなかったことを知っており、そのように言っています」と、カバノーは答えている。

「これは明らかな、単純な中傷です。私は木曜日に、真実について証言し、私の汚れない名前を護ることを楽しみにしています。それは私が、最後の瞬間に何かを言われることがないように、生涯をかけて築いてきた、人格と誠実さの名声を護ることです。」（訳者——この言葉には真実味がある。これを「口先だけ」と言う人はいないだろう。）

ホワイトハウスの報道官 Kerri Kupec は言った：——

「この35年も昔の、傍証のない主張は、ひとりの善良な人間を引き裂くために企まれ、民主党の仕組んだ中傷キャンペーンの、最も新しいものである。この主張は、そこにいたと言われるすべての人々によって否定され、その当時、大学にいてカバノー裁判官を知っていた、

多くの男女の言うことと完全に矛盾している。ホワイトハウスは、カバノー裁判官を強く支持するものである。」

デボラ・ラミレスは、1983-84 学年度の、カバノーが大学 1 年生の時に行われた、飲みゲームの中で彼女が泥酔していたときに、自分を露出して見せたと主張した。

彼女はまた、自分が彼を押しやったときに、不意に彼のペニスに触り、この出来事は彼女に「恥ずかしさと屈辱を与えるものだった」と言った。

彼女はまた、別の男子学生が「ブレット・カバノーが、ペニスをデビーの顔にあてたぞ」と叫んだと言い、その学生は、カバノーのフルネームを使ったと主張した。

ただ、この報告によれば、この雑誌は、カバノーが問題のパーティにいたかどうかを、確かめてはいない。

ある匿名の男子学生は、カバノーがラミレスに露出して見せたという話を、続く数日間、聞かされたと言った。

更に別の男子学生で、ラミレスに露出をするようにと囁けた（と彼女が言った）男は、問題のパーティについて何も覚えていないと言った。

加えてこの雑誌は、カバノーの級友の 6 人が言った言葉を明らかにしている：——

「我々は自信をもって言うことができるが、もしデビーの言うような出来事が起こったとしたら、我々はそれを見るか、そのことを聞いたであろう——しかしそういうことはなかった。彼女が言うような振舞いは、ブレットの性格からは全く考えられないことだ。」

話は更に続く、「その上、我々の何人かは、エール卒業後も長くデビーと付き合っていたが、彼女は、ブレットの最高裁への推薦が問題になるまで、この事件について何も話したことがない。」

陳述に署名をしたある女性クラスメートが、ニュー Yorker に語っている——ラミレスは「私が最も親しくした友人です。我々は人生のいろんな私的なことを話し合いました。しかしこの話は、彼女からも他の誰からも、聞いたことがないのです。それは起こっていないのです。私はそんな話を、見たことも聞いたこともない。」

ラミレスは、ニューヨーカーに対し、自分はこの事件を十分に記憶していない、それは私がそのとき酔っていたからだ、と認めた。

この雑誌はまた、ラミレスは6日間、「注意深く自分の記憶を整理し、弁護士と相談しながら」この話の完全版を提出したと報じている。

ニューヨーカーの報告に応じて、司法委員会の上席委員ダイアン・ファインスティーン（民一カリフォルニア）は、この委員会の共和党員に、カバノーの指名のプロセスを延期するように、そしてラミレスの申し立てを、FBIに付託することを要請した。

「政治はしばらく脇に置くべきである」と彼女は書いた。「我々は、徹底した公正な調査が行われるようにした上で、その後で前に進むべきだ。」

ニューヨーカーの報告が出たほぼ同じころ、この委員会は、フォードに対するカバノーの性的攻撃についての詳細を書いた、ファインスティーンへの手紙の、部分的に修正したものを公開した。

July 30, 2018
CONFIDENTIAL
Senator Diane Feinstein
Dear Senator Feinstein:
Learning with information relevant to advising the current nominee to the Supreme Court. As a senator, I request that you will maintain this as confidential until we have further opportunity to speak.
Brett Kavanaugh physically and sexually assaulted me during high school in the early 1980's. He recruited these acts with the assistance of his close friend, Mark G. Judge. Both were 1-2 years older than I and students at a local private school. The assault occurred in a suburban Maryland area home at a party that included me and 4 others. Kavanaugh physically pushed me into a bathroom, as I was headed for a bathroom up a short stairwell from the living room. They locked the door and played loud music, making any successful attempts to get for help. Kavanaugh was on top of me while laughing while Judge periodically jumped onto Kavanaugh. They both laughed as Kavanaugh tried to strangle me in their overly inhibited state. With Kavanaugh's hand over my mouth, I feared he may inadvertently hit me from across the room. My very drunken Judge said mixed words to Kavanaugh ranging from "go for it" to "stop" at a point where Judge jumped onto the bed, the weight on me was substantial. The girls laughed, and the men argued with each other. After a few attempts to get away, I was able to take this opportune moment to get up and run across to a hallway bathroom. I locked the bathroom door behind me. Both loudly stumbled down the stairwell, at which point other persons at the house were talking with them. I exited the bathroom, ran outside of the house and went home.
I have not knowingly seen Kavanaugh since the assault. I did see Mark Judge once at the Pentagon Village bar, where he was extremely uncharacteristic seeing me.
I have received medical treatment regarding the assault. On July 9, I certified my local government representative to ask them how to proceed with clearing this information. It is upsetting to discuss sexual assault and its repercussions, yet I felt guilty and compelled as a citizen about the idea of not saying anything.
I am available to speak further should you wish to discuss. I am currently vacationing in the east Atlantic until August 27 and will be in California after August 10.
In Confidence,
Christine Healy



ファインスティーン上院議員の受け取ったフォードの手紙には、多くの矛盾が見つまっている

「ブレット・カバノーは、1980年代初期の高校時代に、私を肉体的に性的に攻撃しました」と、フォードはファインスティーンに書いた。「彼はこうした行為を、彼の親友 Mark G. Judge の助けを借りて行いました。」

カバノーもジャッジも共に、フォードが襲われたと言っているパーティに、出席はしていないと言っている。

